

## 志賀高原スキー報告

期 日 : 2018年 3月10日(土)~11日(日)

参加者 : CL柘植(記録)、加藤、渡辺純、井上里

3/10(土)に行ったエリア

3/11(日)に行ったエリア



志賀高原スキー場の全体概念図

報 告 :

1/20(土) 志賀高原の左半分 曇りのち快晴

志賀高原は日本でも有数のビッグゲレンデであり、とても一日では滑りきれない。そこで作戦として全体(ただし横手山と熊の湯エリアはかなり離れているので申し訳なくも除外)を半分にわけて、初日に上図の左半分、二日目に右半分を目標として滑ることにした。土曜は千葉を3時前に出発、志賀高原一の瀬の日帰り駐車場には8:30ごろ着いた。まずは一の瀬ファミリースキー場で何本か滑って足慣らしをしたあと、焼額山に向かう。最初はよかったのだが、途中から井上里さんが膝の調子がいまひとつらしく、負担の少ないエリアで遊んでいるということで、夕刻に合流することとして別れる。志賀高原に着いたころは曇り空だったが、このころから晴れてきてモチベーションが大いにあがる。焼額山⇒奥志賀と転戦して奥志賀のレストランで昼食をとる。奥志賀は志賀高原の外れに位置するせいか、雪質はよいのにスキーヤーは少なく、心地よい滑りを楽しめた。ふたたび一の瀬に戻りたいが、直行で戻れないので、往路で滑っていないコースを滑ってはリフトに乗りを繰り返しながら、一の瀬ダイヤモンドスキー場をへてファミリースキー場に帰還する。ここで井上さんと合流し、夕方までをタンネの森オコジョスキー場と高天原マンモススキー場を滑り、16時ごろに本日のスキーを終了した。今日の行動はかなりの広範囲ながら、一度も板を外すことなく、滑降とリフトですべて移動することができた。これも志賀高原の魅力の源泉と強く思った。宿は志賀グランドホテルというところで、一の瀬日帰り駐車場からは車で1分もかからないところ。格安プラン(9,180円/人)で快適なホテル泊ができた。部屋での宴会

で飲みすぎたのに、夕食は過去最大級の質・量で、もう超満腹状態となってしまった。



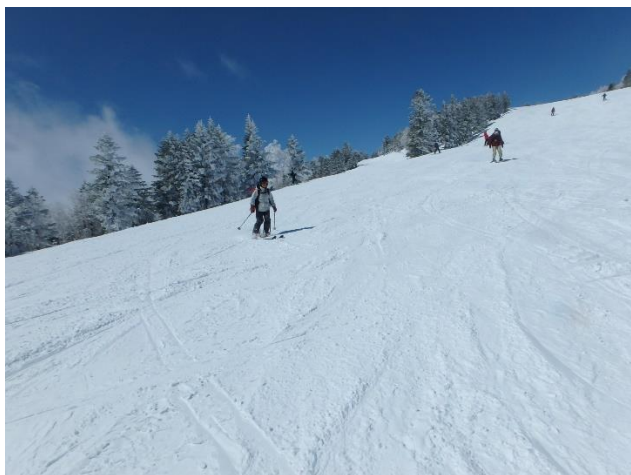
一の瀬ファミリースキー場の上部（まだ曇り  
る）



焼額山スキー場にて（天気は快晴になってく



加藤さんの華麗な滑り



井上里さん



渡辺純さん



志賀グランドホテルでの夕食風景

1/21(日) 志賀高原の右半分 快晴

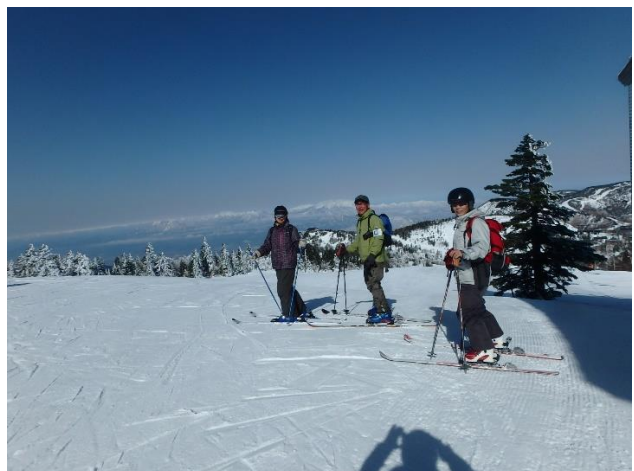
今日は期待とおり朝から快晴で気合が入る。まず一の瀬ファミリースキー場のリフトトップから寺子屋スキー場に向かう。リフト運行開始からすぐの時間に出発したので、ほとんど先頭集団で寺子屋山に立つ。ようやく先頭グループが滑り始めたばかりのゲレンデを3本すべり、東館山に向かう。様子見て林間コースからゴンドラ駅に向かい、ゴンドラで東館山スキー場の最上部に立つ。今日は昨日にまして

素晴らしい天候で妙高を代表とする頸城山塊から北アルプスの峰々も指呼の距離だ。これから滑るオリンピックコースは長野オリンピックで滑降と大回転競技が行なわれたコースだそうで、記念碑が建っていた。我々もにわかオリンピック選手になった気分で一気に滑り降りる。もう気分は最高！ そのままブナ平スキー場に向かう。ブナ平は柘植がはじめて志賀高原に来たときにお世話になったゲレンデでなつかしさがこみ上げてくる。ただ 40 数年前はあふれんばかりの人ごみだったような気がするが、今日はあまりスキーヤーはおらず、なんとなく寂しい。なつかしのブナ平からジャイアントスキー場の基部へ。ここで井上里さんがスキーを履いての登高がきついということで、分かれて無理のないゲレンデで遊ぶことにする。残りの3人でジャイアントスキー場の上部へ向かう。私事であるが、ジャイアントスキー場ははじめてスキーで来たときに手も足も出ず、転げ落ちて無念の涙を流したところ。月日は経ち、それなりに場数は踏んできたので、もう転げ落ちることはなく、2本の滑降を楽しむ。ここから蓮池・丸池・サンバレースキー場エリアに向かう。ここは志賀高原の入り口にあたるところで、クルマで通過してしまう人が多そうだが、コンパクトながら中級向きのゲレンデが多く、とても楽しむことができた。昼食はサンバレースキー場の下部のレストランで。安価でボリュームたっぷりの洋食メニューで全員満腹状態。そろそろ戻らないと…ということで、西館山スキー場で何本か滑り、高天原スキー場⇒タンネの森オコジョスキー場をへて 14:30 に一の瀬にもどり、井上里さんと合流した。風呂に入っていると遅くなり、渋滞にはまりそうなので風呂はパスして帰路につくが、事故渋滞にはまり、帰宅は 10 時ごろとなった。

本当に久しぶりの志賀高原であったが、やはり期待を裏切らない楽しさ抜群のスキー場であった。今回は横手山～熊の湯エリアまで手がとどかなかったが、来年はこのエリアを含めてぜひ再訪したい。



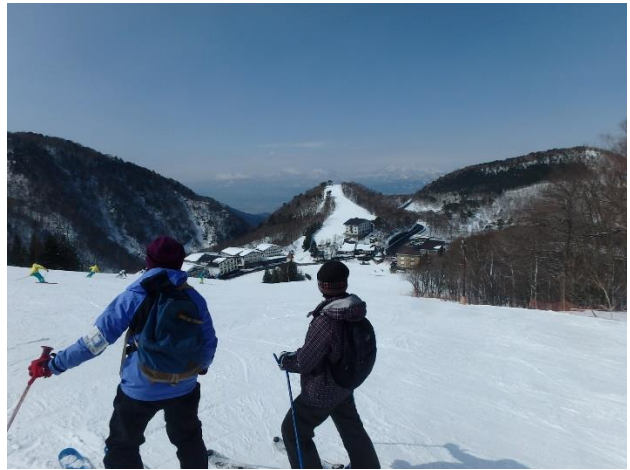
どこかのリフトトップ-その1 (雲海が絶景！)  
ルプス)



どこかのリフトトップ-その2 (背後は北アルプス)



東館山の山頂（背後は岩菅山）



概念図右端のサンバレースキー場

山行報告： 柘植 秀樹